

開会の辞

日本語教育センター主催 シンポジウム 2019

多様な日本語力の学部留学生 の受け入れと大学での学び



国際化推進機構長、異文化
コミュニケーション学部教授
池田 伸子

○**小林** お時間になりましたので始めさせていただきます。

皆様、本日はお忙しい中、立教大学日本語教育センターシンポジウム 2019 にご参加いただきまして、まことにありがとうございます。本日の司会進行役を務めさせていただきます、日本語教育センター員の小林友美と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

初めに国際化推進機構長、異文化コミュニケーション学部教授の池田先生に開会の辞を頂戴いたします。

○**池田** 本日は本当に寒くてお足元も悪い中、日本語教育センターの毎年恒例のシンポジウムにおいでくださりまして、まことにありがとうございます。私は立教大学の副総長で国際化推進を担当しておりますが、同時に、日本語教育センターのセンター員として、本学の日本語教育にも、わずかではありますが関わっています。大学としても、今回のテーマであります多様な日本語力の学部留学生、いわゆる短期ではなくて、ちゃんと4年間、立教大学で学んで卒業していく学部留学生をしっかりと大学として受け入れていくことは、これから立教大学が成長し続けていくためにとても重要だと感じています。ですので、私も副総長の立場として、



日本語教育センター員
小林 友美

12 開会の辞

本日で登壇いただきますさまざまな先生方の事例を学ばせていただき、それを今後の大学教育に活かしていくことができると考えています。本日は数時間ではありませんけれども、皆さんで課題を共有し、何か意見交換ができればと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。